

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月28日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機 原子炉建屋最上階(オペレーティングフロア)の連続ダストモニタの停止によるダスト濃度監視不能について】 当社社員が1号機 原子炉建屋最上階(オペレーティングフロア)の連続ダストモニタが停止し、1号機カバー設備のダスト濃度(全系統)が監視不能となったことを確認。 調査の結果、電源盤のブレーカーが落ちており、同一電源から供給を受けている空調機の低温による運転過負荷により、一時的にブレーカーが落ちたものと推定。 その後電源を投入し、当該連続ダストモニタの運転を再開。 なお、監視不能の期間において原子炉建屋でガレキ撤去等のダスト濃度に大きな変動を及ぼす作業はなく、また、他の連続ダストモニタ指示値にも有意な上昇はなかった。 今後、原因調査を実施する。</p>	GⅢ	12月27日
2	<p>【淡水化装置処理水移送ポンプ1電源盤 停止ボタンの外れについて】 当社社員が現場にて、淡水化装置処理水移送ポンプ1電源盤の停止ボタンが外れており、現場での停止操作ができないことを確認。 監視室にて起動・停止操作ができるため、運転操作に影響なし。 今後、部品調達すると共に、交換時期の検討を予定。</p>	GⅢ	12月21日
3	<p>【増設多核種除去設備(A)吸着塔入口バッファタンクA出口弁の開操作不能について】 当直員が、点検時に吸着塔入口バッファタンクAの出口弁を開操作したところ弁が動かないことを確認。 弁の固着か駆動部の不良と推定。 なお吸着塔入口バッファタンクA出口弁は通常は開の弁であるため運転時には影響なし。 今後、点検を実施予定。</p>	GⅢ	12月23日
4	<p>【増設多核種除去設備(C)吸着塔入口バッファタンク水位上昇について】 当直員が、増設多核種除去設備(C)を運転から、循環待機へ移行後、吸着塔入口バッファタンクの水位上昇を確認。 調査の結果、ブースターポンプ1C吸込弁及びブースターポンプ1C吐出逆止弁の炭酸塩付着によるシート漏えいと推定。 運転に影響のない微少な漏えいのため、本系統の運転に影響なし。 今後、弁の点検を実施予定。</p>	GⅢ	12月22日
5	<p>【サブドレン浄化設備空気圧縮機B空気乾燥機故障ランプが消灯しないことについて】 当直員が、サブドレン浄化設備空気圧縮機B空気乾燥機の起動操作において、本来、5分程度で消灯すべきランプが消灯しなかったことを確認。 確認したところ、当該空気乾燥機の故障と推定。 なお、空気圧縮機A系が運転可能なため、サブドレン浄化運転に影響なし。 今後、当該空気乾燥機を交換予定。</p>	GⅢ	12月24日
6	<p>【地下水バイパス「揚水井(L)制御盤 盤内温度異常」警報の発生について】 当直員が、揚水井(L)制御盤 盤内温度異常の警報ランプが点灯していることを確認。 調査の結果、ヒーター回路の故障と判断。 なお、揚水ポンプ制御回路の電源に異常はなく、仮設ヒーターを設置していることから、直ちに系統に影響を及ぼすものではない。 今後、予備品にてヒーターの交換を予定。</p>	GⅢ	12月26日